

## <報道発表資料>

.....  
カテゴリー：募集

令和5年6月29日

### サクラの外来害虫“クビアカツヤカミキリ”被害を発見してください —「クビアカツヤカミキリ発見大調査 2023」スタート—

環境科学国際センターでは、サクラの外来害虫“クビアカツヤカミキリ”の県内における被害状況を把握するため、6回目となる「クビアカツヤカミキリ発見大調査 2023」を実施します。県民の皆様は、調査に参加して被害情報の提供に御協力ください。

県内では、現在もクビアカツヤカミキリによる被害の拡大が続いています。この状況を抑えるためには、県内での被害状況を把握し、被害発生地域での防除を引き続き実施するとともに、その周辺の被害未発生地域での新たな被害を防止することが急務です。

これまで多くの県民や団体の皆様に、被害発見の御協力をいただきましたが、防除対策を効果的に推進し、被害の拡大を抑えるためには、皆様から寄せられる被害情報がまだまだ必要です。

埼玉のサクラを守るため、ぜひ皆様の御協力をお願いします。

## <クビアカツヤカミキリ発見大調査 2023>

### 1 目的

県内におけるクビアカツヤカミキリの被害状況を把握し、被害対策に活用します。

### 2 調査参加者

県内在住・在勤・在学の方であれば、どなたでも御参加いただけます。

### 3 調査方法(詳細は「クビアカツヤカミキリ発見大調査マニュアル 2023」を参照)

#### (1) 調査場所・樹種

県内の公園や河川敷、学校などにあるサクラを主な調査対象とします。特に河川沿いのサクラ並木は、被害拡大に関与している可能性が高いため、注意して見てください。

なお、ウメ、モモ、スモモなどのバラ科樹木に関する被害情報も受け付けます。

## (2) 確認方法

クビアカツヤカミキリの成虫(図 1)や、排出されたフラス(図 2、糞と木くずが混ざったもの)を確認します。



図1 クビアカツヤカミキリ(オス)



図2 フラス(褐色のカリントウ状で比較的硬い)

## (3) 報告方法

確認した情報を電子メールや郵送などで環境科学国際センターに報告してください。また、スマートフォンから専用フォーム(<https://arcg.is/1j4P1b>)で報告することもできます。

なお、成虫やフラスを見つけた場合は、市町村や管理者へ報告していただいても結構です。情報は環境科学国際センターと共有されます。

## 4 調査期間

集中調査期間は、令和5年8月31日(木)までです。

なお、集中調査期間外の情報提供も随時受け付けます。

## 5 クビアカツヤカミキリの特徴

- ・自然分布は、中国、モンゴル、朝鮮半島、ベトナムなどです。
- ・成虫の体長は 25-40mm 程度で、前胸背板(一般に「首」に見える部分)が鮮やかな赤色、他の部分が光沢のある黒色です。
- ・成虫は、昼間によく活動し、柑橘系のおおいを発します。
- ・メスの成虫は木の樹皮の割れ目に産卵し、1000 個近く産むこともあることから、繁殖力が極めて旺盛です。

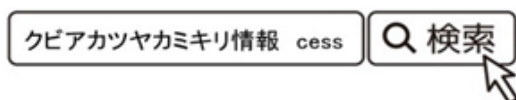
- ・幼虫は、サクラ、ウメ、モモ、スモモなどの主にバラ科樹木の生木を好んで摂食します。
- ・幼虫は木の内部で2～3年かけて成長し蛹(さなぎ)となり、6月中旬から8月上旬に成虫となって、木の外に脱出します。
- ・幼虫の活動期は春から秋で、この間にフラスを排出します。
- ・成虫の寿命は、野外では1か月程度です。

## 6 その他

- ・クビアカツヤカミキリは、外来生物法により、特に生態系などへの影響が認められる「特定外来生物」に指定され、飼育や運搬などは禁じられています。
- ・成虫を見つけた場合は、被害拡大を防ぐため、逃さず、その場で捕殺するようお願いいたします。なお、成虫が人を刺すことはなく、人体への危険はありません。

**調査に関する詳細は、以下の「クビアカツヤカミキリ情報」サイトを御覧ください。**

<https://www.pref.saitama.lg.jp/cess/center/kubiaka.html>



## <参考>

### ○ これまでの県内におけるクビアカツヤカミキリ被害の変遷

平成25年度	・埼玉県南部の草加市と八潮市で、県内で初めてクビアカツヤカミキリの被害報告(3か所)。
平成26年度	・八潮市で新たな被害報告(3か所)。
平成27～28年度	・被害報告なし。
平成29年度	・県北部の羽生市、熊谷市、行田市、深谷市及び加須市、県南部の越谷市で、新たに被害報告(18か所)。 ・草加市と八潮市を合わせて県内8市24か所で被害確認。
平成30年度	・「クビアカツヤカミキリ発見大調査2018」を実施。 ・平成29年度と同様の8市から128か所の被害報告。
令和元年度	・「クビアカツヤカミキリ発見大調査2019」を実施。 ・平成30年度に被害が確認された8市に、新たに3市1町を加え、計12市町の206か所から被害報告。
令和2年度	・「クビアカツヤカミキリ発見大調査2020」を実施。 ・令和元年度に被害が確認された12市町に、新たに3市1町を加え、計16市町の431か所から被害報告。

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「クビアカツヤカミキリ発見大調査 2021」を実施。</li> <li>・令和2年度に被害が確認された 15 市町(被害報告がなかった 1 町を除く)に、新たに 1 市 2 町を加え、計 18 市町の 444 か所から被害報告。</li> </ul>
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「クビアカツヤカミキリ発見大調査 2022」を実施。</li> <li>・令和3年度に被害が確認された 17 市町(被害報告がなかった1町を除く)に、新たに4町1村を加え、計 22 市町村の 598 か所から被害報告。</li> <li>・令和3年度に比べ、被害箇所数は約 1.3 倍に増加、被害地域の拡大を確認。</li> </ul>

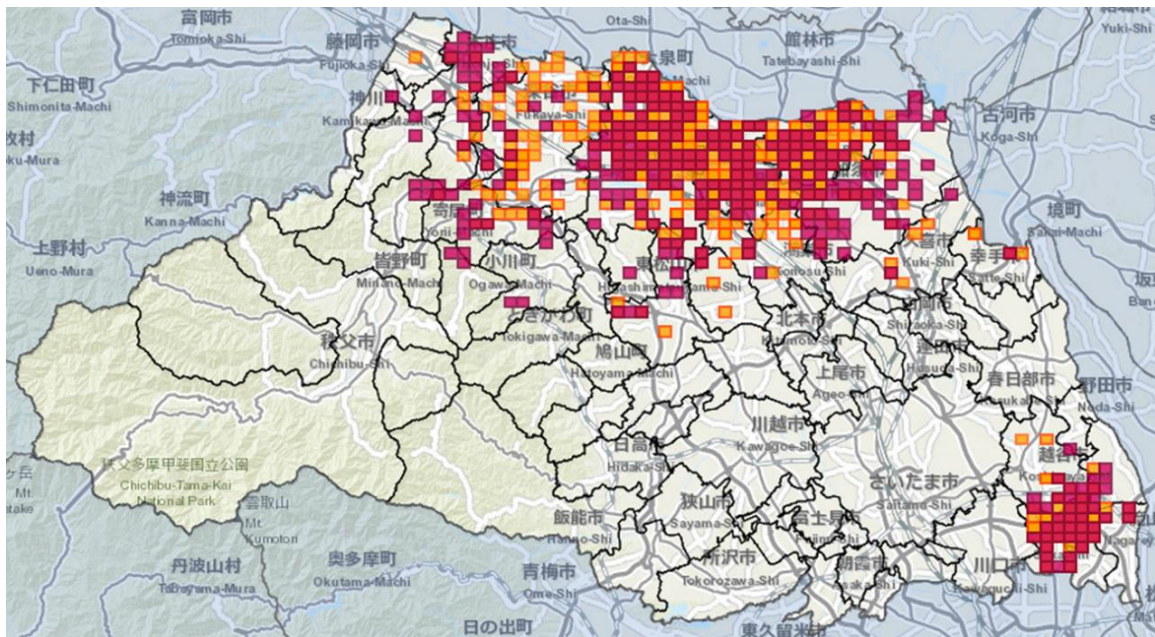
○ これまでに実施した「クビアカツヤカミキリ発見大調査」で被害が確認された市町村及び被害箇所数(成虫のみの確認を含む)

市町村	平成30年度の被害箇所数	令和元年度の被害箇所数	令和2年度の被害箇所数	令和3年度の被害箇所数	令和4年度の被害箇所数
草加市	23	44	48	69	83
八潮市	3	6	8	14	16
越谷市	4	4	5	7	15
羽生市	10	16	66	69	47
熊谷市	45	69	106	130	167
行田市	30	46	99	68	53
深谷市	11	7	57	10	10
加須市	2	5	18	12	78
吉川市	—	3	2	2	14
三郷市	—	1	2	7	6
鴻巣市	—	3	14	15	4
寄居町	—	2	2	10	22
上里町	—	—	1	0	0
幸手市	—	—	1*	3	1
久喜市	—	—	1	4	2
本庄市	—	—	1	5	35
東松山市	—	—	—	9	11
吉見町	—	—	—	4	0
美里町	—	—	—	6	4
長瀨町	—	—	—	—	19
滑川町	—	—	—	—	1*
神川町	—	—	—	—	1*
小川町	—	—	—	—	4
東秩父村	—	—	—	—	5
被害発生市町村数計	8	12	16	18	22
被害発生箇所数計	128	206	431	444	598

\*、成虫のみの確認



○ 令和4年度までにクビアカツヤカミキリ被害が確認された地域



- ・色付きのメッシュは、被害(成虫のみの確認を含む)が発生した地点を含む3次メッシュ(1km×1km)
- ・赤のメッシュは令和4年度に被害が発生した地点を含む3次メッシュ

\* マップの詳細は、上述の「クビアカツヤカミキリ情報」サイトにある「クビアカツヤカミキリ調査地点マップ」を御覧ください。

○ 写真



サクラの根元に堆積したフラス



樹体から排出されるフラス